

前回有識者会議での意見への対応状況について

議事（１）工事中の環境対策について

委員名	ご意見	事務局対応状況
辻村 壮平 委員	○騒音の評価はエネルギーベースだけでなく、上位5%を抽出したL ₅ のような値を参考にするとよい。	○環境基準値として採用されるエネルギー平均値(L _{eq})に加え、L ₅ においても評価を行うこととしております。 【資料4掲載】
	○騒音は、車両台数というより速度の影響が大きい。特に大型車両は加速時の影響が大きいので、急発進をしないよう指導するというのは良い対策だと思う。	○建設工事の請負業者から運転手に対して、「安全運転指導事項」を記載した書類により、事前に指導を実施しております。<添付資料あり> 【資料3掲載】
	○蟬の声については、周波数でフィルタリングするという技術があるので、問題ないと思う。	○精密騒音計による周波数ごとの測定を行い、蟬による騒音レベルへの影響を確認しました。【資料4掲載】
桐原 委員	○トンボ移植が遅れているが、処分場工事は遅れのないように進めてほしい。	○令和6年4月22日に移植措置が完了し、処分場の工事工程への影響はありませんでした。【資料3掲載】
小林 座長	○地下水の測定結果については、住民が体感でわからない部分なので、情報公開をしっかりしてほしい。	○令和6年4月より事業団ホームページに「環境モニタリング」のページを開設し、情報公開に努めております。 ○地下水の測定結果を含めて、環境モニタリングの結果は、月1回の頻度でホームページを更新しています。 ○事業団で月1回地元配布している広報誌等においても、環境モニタリングの結果を掲載しております。 <添付資料あり>

議事（２）令和6年度環境モニタリング計画（案）について

委員名	ご意見	事務局対応状況
辻村 壮平 委員	○工事用車両が多く通過する日等、騒音の影響が比較的大きい日にサンプリングをするとうよいと思う。	○建設工事の請負業者から事前に工事用車両台数の提供を受け、サンプリングを行いました。【資料4掲載】
小峯 委員	○エコフロンティアかさまの経験から、工事前から測定を行う等、環境への影響を確認するためにバックグラウンドの測定が重要である。	○環境影響評価のため工事前に測定した値がございますので、そちらをバックグラウンドとして評価しております。 ○加えて、特に騒音については、精密騒音計による周波数ごとの測定を行い、蟬の騒音影響を把握いたしました。 【資料4掲載】
小林 座長	○供用開始後になるが、防災調整池の容量が想定どおり問題ないということ、情報公開できるよう検討してほしい。	○基本計画時に行ったシミュレーションと施工後のデータの整合性を確認する等、想定通り問題ないことを確認する方向で進めてまいります。

議事（３）施工管理ワーキンググループの設置について

意見、質問なし

新産業廃棄物最終処分場建設工事 安全運行指導事項（株木JV）

1. 右の図 1 の運行ルート以外の運行を禁止する
2. 梅林通りを運行する**工事用車両**の運行時間は、**9 時以降とすること**
3. 騒音、振動の影響の防止のため、**急発進、急ブレーキ、クラクションの使用をしないこと**
4. 一般車両と区別できるよう、**工事用車両は貸出する掲示物を必ず掲示すること**(図 2)
5. 万が一事故が発生した場合、**緊急連絡先へ連絡**をすること
6. 梅林通りの**法定速度(40km/h)**を遵守すること
7. 梅林通りへの進入は、**油繩子交差点を水戸側(南側)からの左折のみ**とすること**(山側道路通行禁止)**
8. 小学校下校時間のため、**14:00~16:00**の搬入出を禁止する。**(夏休み期間：2024/7/22~8/30を除く)**
9. 信号のない横断歩道があるため、**歩行者がいる場合は必ず一時停止**をすること
10. 油繩子交差点左折後の道路が狭く湾曲しているため、**一般車両との接触の無いよう注意**すること
11. **搬入車両運転前に、運行ルートを理解しておくこと**
12. **道路交通法を遵守して運行**をすること

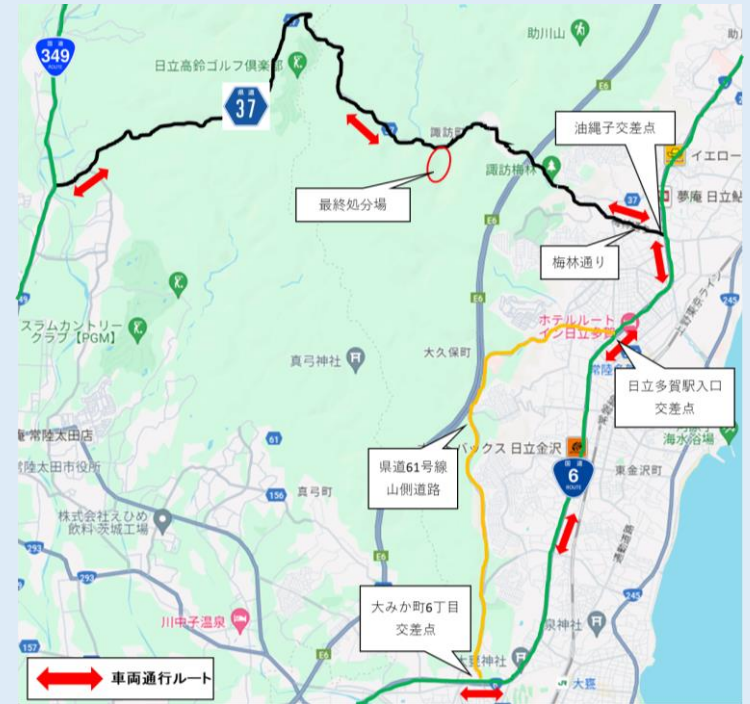


図1 工事用車両の通過ルート

緊急連絡先	
1	松信
2	大山
3	鍵山
4	現場事務所
5	代表構成員 株木建設 茨城本店



図2 工事用車両の掲示物

新産業廃棄物最終処分場建設工事 安全運行マップ^o（日上市諏訪町 梅林通り）

諏訪梅林



・横断者がいる場合、一時停止

・横断者がいる場合、一時停止
・介護事務所を出入りする車両との接触注意

つくしんぼ
保育園



・横断者がいる場合、一時停止
・出入りする車両との接触注意

諏訪小学校

油縄子保育園

油縄子交差点



・保育園側から進入する車両との接触注意
・飛び出しに注意



・下校時、飛び出しに注意



・保育園を出入りする車両との接触注意
・飛び出しに注意



道が狭く湾曲しているため内輪、外輪差に注意

進入禁止

諏訪五差路

諏訪五差路
進入前看板



至 水戸

・事前にマップ等により進行方向を理解しておくこと
・右折、直進車線に進入しないよう、走行時注意すること

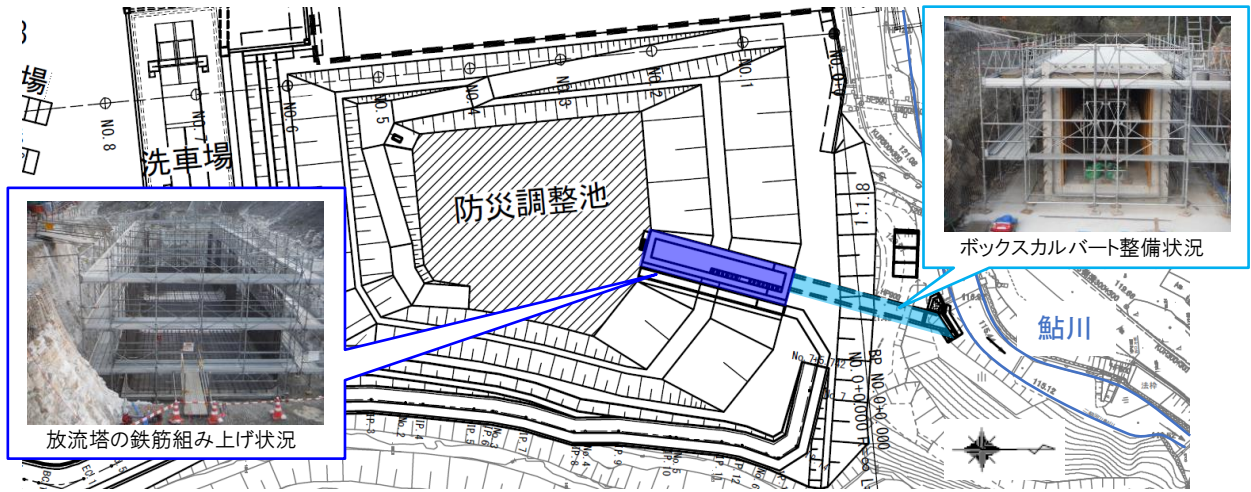
年の暮れを迎え、街の様子もあわただしさが感じられるようになりました。冬至を過ぎ、日没が早い時期です。処分場の工事現場では、より一層の安全を心掛け、工事を進めております。現在、盛土工事と並行して、防災調整池の放流塔の整備が進められておりますので、その様子をお知らせいたします。



防災調整池の放流塔の整備状況

※ゴミに触れた雨水は浸出水処理施設で浄化処理した後に下水道へ放流

処分場北側の防災調整池では、鮎川への雨水の放流量を調節する放流塔を整備しています。雨水の流れとしては、処分場埋立地の外側に降ったゴミに触れていない雨水は、まず、防災調整池に集まり、その後、放流塔で流量の調整を行い、放流塔出口のボックスカルバートを通して鮎川へ放流されます。



ボックスカルバートってなに？



あんきよ

カルバートとは暗渠（地中に埋められた水路のようなもの）のことです。ボックスカルバートは、コンクリート製の構造物で箱型をしており、水路以外に道路などにも使われています。

【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所
電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の
ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認ください。



諏訪小学校の下校時間帯の見守り活動を開始

※ 登校時間帯の工事用車両の通過はありません。

11月27日から、諏訪小学校の下校時間帯の児童の見守り活動を開始いたしました。

事業団が委託した警備会社により、諏訪小下の横断歩道や梅林通り沿いでの見守り活動を実施し、児童の安全確保を徹底しながら、令和8年度末の処分場供用開始に向けて工事を進めてまいります。



諏訪小下の横断歩道

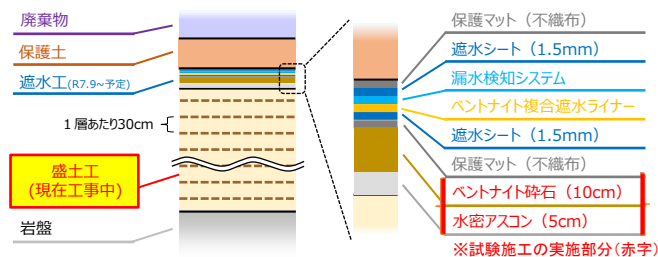


梅林通り沿い

処分場埋立地底部の遮水構造の試験施工を実施

処分場埋立地底部には、廃棄物に触れた雨水が地下に浸透しないように遮水構造を整備します。12月3日、施工管理ワーキンググループの座長である早稲田大学の小峯教授の立合いのもと、遮水構造のうち水密アスファルトコンクリートとベントナイト砕石の部分についての試験施工を実施し、施工方法や品質管理方法の助言をいただきました。

最終処分場の埋立地底部の概略構造



処分場建設工事中の環境モニタリング

工事中の環境モニタリングの結果

● 水質(10月測定)

工事現場からの雨水排水を測定したところ、工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で基準未満でした。

● 地下水(10月測定)

処分場周辺に設置しているモニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果

編集記

令和6年もいよいよ残りわずかとなりました。本誌が皆さまのお手元に届く時には、新しい年が始まっていることと思います。令和7年も皆さまの安全、安心を第一に処分場の建設工事を進めてまいります。

広報誌でも引き続き、工事現場の状況や作業内容などを掲載してまいります。令和7年も、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



本年も何卒よろしくお願い申し上げます。茨城県環境保全事業団では、引き続き、地元の皆様の安全安心に配慮しながら工事を進めてまいります。今号では、昨年より進めております仮設道路整備の進捗状況と処分場工事現場の法面の保護対策などの様子をお知らせいたします。



盛土材を運搬する仮設道路の整備



昨年10月から、発破作業や掘削作業などを実施して整備を進めてきた仮設道路が完成しました。

これにより、処分場の南側にある堆積場から、盛土材を効率よく運搬することが可能になり、盛土工事の施工性が向上しました。

仮設道路は、上り下りの勾配が大きく、通常の大型10tダンプでの通行が難しいため、アーティキュレートダンプと呼ばれる大型のトラックが通行します。

以下にアーティキュレートダンプと大型ダンプを比較しました。

アーティキュレートダンプ(左側)

- 車両サイズ
幅3.5m×高さ3.7m×長さ11m
- 積載量
36t(24.4m³)
- 特徴
・6輪駆動
・公道走行不可



10tダンプトラック(右側)

- 車両サイズ
幅2.5m×高さ3.3m×長さ7.6m
- 積載量
10t(5.7m³)
- 特徴
・4輪駆動
・公道走行可能

【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所
電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の
ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認いただけます。



現場だより

処分場法面のモルタル吹付試験を実施

12月25日、施工管理ワーキンググループの委員である茨城大学大学院の小林教授の立会のもと、モルタル吹付試験を実施し、本施工時に機械による吹付を行う際の留意点などのアドバイスをいただきました。



道路の清掃・凍結によるスリップ防止対策を実施

工事現場の出入り口や周辺道路におきまして、道路の清掃を実施するとともに、凍結防止剤の散布による車両のスリップ防止対策を行うことにより、交通安全に努めています。



道路の清掃



凍結防止剤の散布

処分場建設工事中の環境モニタリング

● 大気質(11月測定)

工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準未達でした。

● 騒音・振動(11月測定)

工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準未達でした。

● 水質(11月測定)

工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で基準未達でした。

● 地下水(11月測定)

工事の影響はほとんどないことを確認しました。



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果

編集後記

皆さまは今年の目標を立てましたでしょうか。私は1つ、目標を立てました。令和7年は干支(十干と十二支の組み合わせ)で乙巳(きのと・み)にあたります。乙は『木が育ち成長する・努力』を、巳は蛇が脱皮し強く成長することから『再生・変化・成就』を表し、乙巳は『努力を積み重ね、物事を安定させる』といった年とされているそうです。

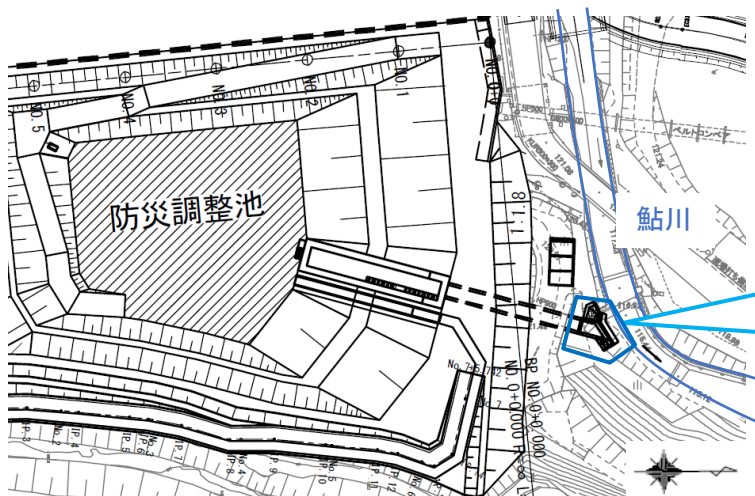
事業団職員一同、自己の目標を達成し、成長できる1年になるよう、日々、努力してまいります。〈本誌編集員〉

令和7年になり、あっという間に二月が過ぎようとしております。立春が過ぎ、暦のうえでは春ですが、まだまだ寒さが続いております。今号では防災調整池吐け口と浸出水処理施設の整備状況をお知らせいたします。また、今号より、不定期になりますが、茨城県高萩工事事務所より新設道路などの整備状況もお知らせいたします。



防災調整池吐け口の整備状況

防災調整池では、吐け口の整備を進めています。吐け口は、処分場埋立地の外側に降った雨水が、防災調整池に集水された後、鮎川へ放流するための放流口の役割を担っております。現在は、鉄筋の組立作業を進め、この後、型枠を設置し、コンクリートを打設します。



【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所

電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp

その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団のホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認いただけます。



現場だより

浸出水処理施設エリアの掘削工事

計画している地盤の高さとするため、発破による岩盤掘削作業を実施しています。

飛散・騒音防止用シートで覆い安全対策に努めるとともに、一時的な交通規制を実施しています。



現場事務所に花壇のプランターを設置しました

現場のイメージアップや地域との親しみの思いから、花壇のプランターを設置しました。現場に緑化や花壇があることで明るい気持ちになっています。



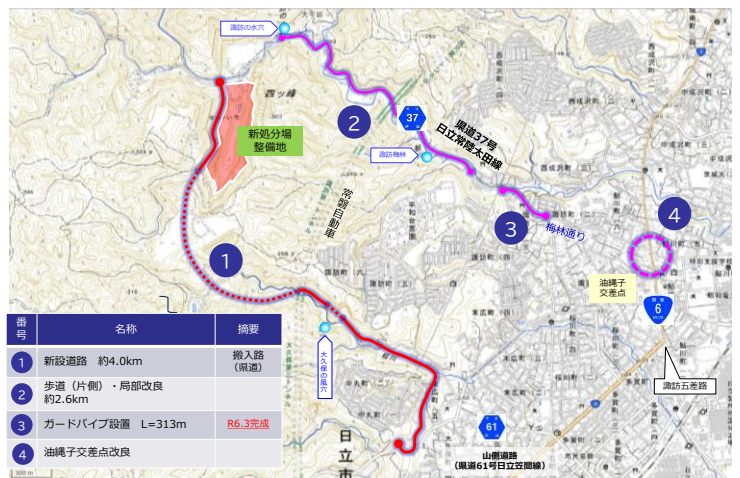
新設道路などの整備状況について(茨城県高萩工事事務所)

茨城県高萩工事事務所では、廃棄物の搬入ルートとなる新設道路をはじめ、県道日立常陸太田線の歩道整備や国道6号油縄子交差点の改良事業に取り組んでいます。

来月号から、これらの事業についても少しずつ進捗状況などを発信していきます。



梅林通りの諏訪神社付近のガードパイプは先行して整備しました。(令和6年3月完成)



処分場建設工事中の環境モニタリング

工事中の環境モニタリングの結果

● 水質(12月測定)

工事現場からの雨水排水を測定したところ、工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で基準未満でした。

● 地下水(12月測定)

処分場周辺に設置しているモニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点

編集後記

今号も『事業団からのお知らせ』をお読みいただき、誠にありがとうございます。まだ寒い日もありますが、自然の草木たちは少しずつ、春に向かい変化しているように感じます。昨年11月中旬に狂い咲いた我が家の梅の木は、再び白い花を咲かせ始めました。諏訪の梅林では紅梅が3輪開花していました。満開の頃また足を運びたいと思います。これからヤマザクラなどの開花も楽しみです。事業団では今後も環境に十分配慮しながら処分場建設工事を進めて参ります。(本誌編集員)

新産業廃棄物最終処分場の工事開始のお知らせ

(一財)茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所

住所：日立市多賀町2-1-4多賀町カシマビル1

TEL：0294-33-8731

茨城県環境保全事業団は、県が策定した新産業廃棄物最終処分場基本計画を受け、**新処分場工事に着手**します。2026年度末の供用開始を目標に、**地元の皆様の安全安心に配慮しながら工事**を進めてまいります。

廃棄物の埋立地

容量は240万m³とし、埋立期間は約20～23年間を予定しています。

管理棟・展開検査場

廃棄物を埋立前に確認し、適切に廃棄物の受入検査を行います。

防災調整池

ゴミに触れない雨水は、放流量を調整して防災調整池から鮎川へ放流します。

新処分場の位置



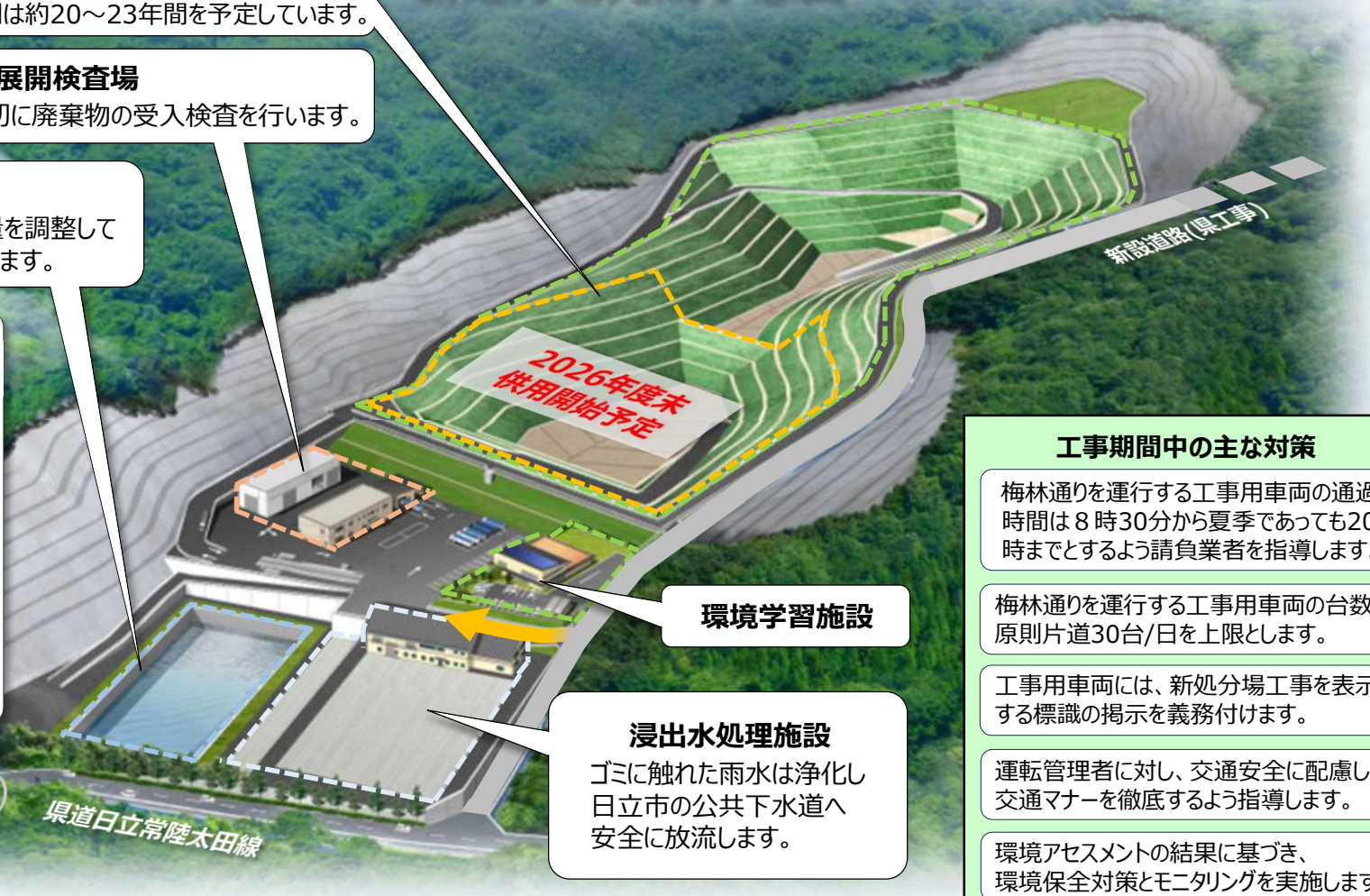
至国道6号



県道日立常陸太田線

新処分場完成予想図

茨城県基本設計パース図



環境学習施設

浸出水処理施設

ゴミに触れた雨水は浄化し日立市の公共下水道へ安全に放流します。

工事期間中の主な対策

梅林通りを運行する工事用車両の通過時間は8時30分から夏季であっても20時までとするよう請負業者を指導します。

梅林通りを運行する工事用車両の台数は原則片道30台/日を上限とします。

工事用車両には、新処分場工事を表示する標識の掲示を義務付けます。

運転管理者に対し、交通安全に配慮し交通マナーを徹底するよう指導します。

環境アセスメントの結果に基づき、環境保全対策とモニタリングを実施します。

新産業廃棄物最終処分場の工事スケジュール・環境モニタリング

2024年5月27日発行

造成工事において、梅林通りの工事用車両の通過を少なくするほか、有識者の意見をいただきながら、工事の影響がほとんどないとされた環境アセスメントの事後調査として、確認のために**環境モニタリングを実施**します。

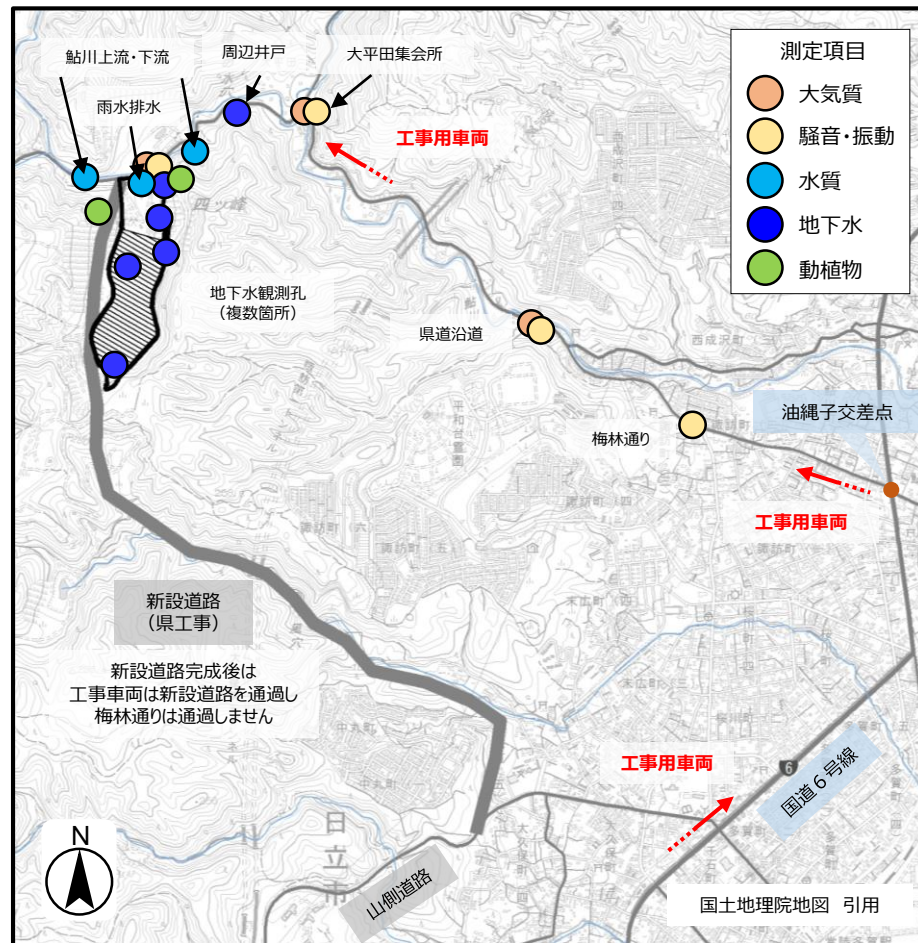
工事スケジュール

年度		2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)
工事	敷地造成 処分場の形状を盛土で造成	敷地造成に使用する盛土は、処分場周辺の堆積場にあるものを利用し、梅林通りを通過しないよう配慮いたします					
	遮水工 地下浸透を防ぐシート等を施工		北側区画			南側区画	
防災調整池							
浸出水処理施設			水処理施設、第1調整槽		第2調整槽		
管理棟・展開検査場							
環境学習施設							
※新処分場工事に影響がない場合							

★ 供用開始(2026年度末目標)

梅林通りを通過する工事用車両は、原則1日片道30台までとするとともに、可能な限り通過する台数を少なくするほか、通行時間帯も配慮します。

工事中の環境モニタリング地点



新処分場周辺から市街地まで工事の影響がないことを確認するため法律上の定めはありませんが、自主的に環境モニタリングを実施します。

新産業廃棄物最終処分場の工事進捗のお知らせ

(一財)茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所

住所：日立市多賀町2-1-4多賀町カシマビル1

TEL：0294-33-8731

工事着工から約半年が経過し、現在は主に**敷地造成のための盛土工事と防災調整池の工事を実施**しております。
今後も**安全安心を最優先**にしながら、令和8年度末の供用開始を目標に工事を進めてまいります。

浸出水処理施設周辺の設計を変更

一部設計変更後パース図



変更箇所 拡大図

浸出水第1調整槽

浸出水第2調整槽

半地下構造に変更

擁壁構造を変更

県道日立常陸太田線

浸出水処理施設

新設道路
(県工事)

新設道路と現道の交差点における安全性向上などの観点から、有識者の意見を踏まえ、浸出水処理施設と調整槽周辺の擁壁構造を低くするなどの一部設計変更を行いました。(詳細は事業団HPで紹介しています。)

周辺の堆積場からの仮設道路造成

一部発破を行い大型ダンプが通行する道路を造成しています。

飛散・騒音防止用シート



発破前



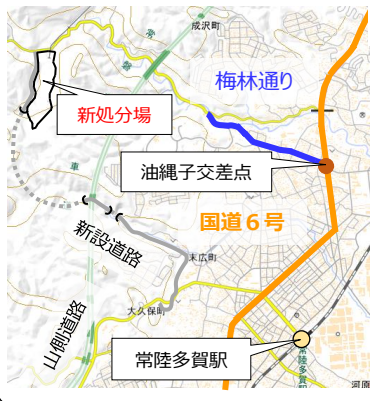
発破後

敷地造成工事

裏面で詳しく解説しています。

令和6年10月1日
ドローン撮影写真

新処分場の位置



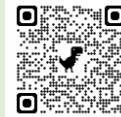
防災調整池の工事

鮎川への雨水の放流量を調整する
防災調整池と放流塔を整備しています。



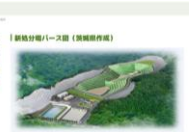
新処分場ホームページの紹介

事業団では、日立市の皆様をはじめ広く新処分場の建設状況をお知らせするため、ホームページ等で情報提供を行っています。



茨城県環境保全事業団
二次元コード

新処分場ホームページ



地元地区に配布している広報誌

新処分場の敷地造成工事の状況・スケジュール・環境モニタリング

2024年12月13日発行

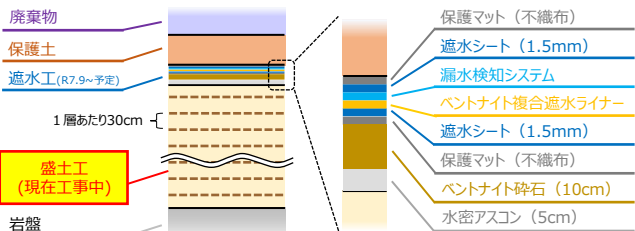
梅林通りを通行する工事用車両の台数を削減するため**周辺の堆積場から盛土材を搬入し、品質を確認しながら敷地造成**しています。工事は当初計画どおり順調に進んでおり、**環境への影響はほとんどない**ことを確認しています。

敷地造成工事の状況

盛土材の敷均し・転圧による締固めを繰り返し、品質を確認しながら敷地造成しています。



最終処分場の埋立地底部の概略構造



遮水工の構造模式図



スケジュール

		年度					
		2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)
埋立地	敷地造成 処分場形状を造成	● (北側区画) ● (南側区画)	● (南側区画)	● (南側区画)	● (南側区画)	● (南側区画)	● (南側区画)
	遮水工 遮水シート等を施工		● (北側区画)	● (北側区画)	● (北側区画)	● (南側区画)	● (南側区画)
防災調整池		● (北側区画) ● (南側区画)					
浸出水処理施設			● (水処理施設、第1調整槽)		● (第2調整槽)		
管理棟・展開検査場				●			
環境学習施設					● (※新処分場工事に影響がない場合)		

R6.11現在

★ 供用開始(2026年度末目標)

敷地造成及び防災調整池の工事を当初計画どおり進めています。

環境モニタリング



モニタリングの結果、工事による**環境影響はほとんどない**ことを確認しています。